



発行兼編輯人 川崎文治
福島縣石城郡平町長橋町五番地
發行所 常盤毎日新聞社

定価 一ヶ月五圓
三ヶ月一十三圓
半年一十二圓
一年一十二圓
郵代別五圓
電話三三三九番

刊夕日七十二月六

高級 逸獨 眼鏡 (メニスカス)

今、只煩悶心打捨て、映畫の人となりて涙す。美しき乙女心にとは聞しと舞台のかけにむすぶ夢かな。

淋しくも君にそむきてあ
る時の心にも似て黄昏の
唄

今は只煩悶心打捨て、映畫の人となりて涙す。美しき乙女心にとは聞しと舞台のかけにむすぶ夢かな。

常盤屋時計店
平町一丁目
電話三三三九番

常盤文藝

たそがれの唄 千枝子

有聲座所見

◎黄昏の唄など歌ふ桂子はも澄める眸を只一人もつと美しき乙女心に向はまじと舞台のかけにむすぶ夢かな

◎都路をはなれて遠く漂泊とそこそこ既に黄昏の唄ひめやかに黄昏の唄をきける夜は物語りめく煩悶心

◎雨の夜の淡き灯影に依しる涙ぐみつゝ聞くは誰が子ぞ

◎淋しくも君にそむきてあ
る時の心にも似て黄昏の唄

◎今は只煩悶心打捨て、映畫の人となりて涙す。美しき乙女心にとは聞しと舞台のかけにむすぶ夢かな。

産婆開業

片寄産婆方
東京帝國醫科大學産婆科
卒業 鈴木エ
◎妊婦産前産後御預り致す
ます◎御困りの方には
無料でお授け致します

霜降小倉 通學服

寸法各種 澤山取揃
磐城平 ぶかや洋服店
電話二〇三番

和久井 漆器器漆

漆器器漆 和久井 漆器器漆

平町一丁目 電話五〇四番

常盤論壇

代議士稼業 又頗る難い哉

政界通人

協調破壊、來議會解散、明
春總選舉、普通選舉第一回
の總選舉と考ふる時局も政
治に多少の興味を有つてゐ
るものは武者振るひをする
程である

併し内心翻つて考へて見て
何人かよく此大難關に立
ち得るものあらうか

現代議士にして普選の爲め
落選するものは約半数以上

だらうとの事だが、それは
恐らく選舉費の缺乏が大影
響をして居るだらう

代議士となつて一年未だ瘡
痕の恢復したものは極めて
少数に相違ない

此の悩みは政府黨でも在野
黨でも皆同一でイヤ解散と
なる各政黨を通じて約一
億圓の軍費を作らねばなら
ぬ

協調が破れる如く見えて破
れざるも畢竟解散した曉に
於ける此の點を心配するか
らである

荊妻ヒデ病氣中の處藥石
効なく廿六日午後十二時
死去仕候間此段乍略儀以
紙上御通知申上候

追而葬送の儀は廿八日午後二時自宅出棺於菩提
院以佛式葬儀執行仕候

六月廿七日

喪主 吉田直之助
代 吉田幾三郎

營 業

モ 一 ト
機 風 ス
ス ン ラ

製浦芝 製立日

平 浅 主
地番八二町冶鍛平
一 喬 井

會 商 業 電 平
番 二 一 一 話 電

帝國キネマ大三名畫公開

映畫劇 (帝國キネマ昔屋作品)

◇夕刊賣の娘 卷全
伊志井寛・松野紅子・鈴木澄子主演

◇獅子の聲 卷全
冒險大活劇 (連續第一)

時代劇小阪作品

◇お半長右衛門 卷全
嵐璃徳・森静子・主演

其他實寫喜劇帝キネ直營

土曜ヒルあ
日曜ります

有聲座
電話四四六番

一冊の代金で
御希望通りな
五冊の雑誌が
自由讀める

平町長橋町三五
川崎回文庫
(申込次第規則書進呈)

株式買中値

電話に金融致し

銘柄	拂込	時價
磐城銀行	五〇〇	五三〇
平銀行	五〇〇	六八〇
同 新	一一五	一七五
磐城銀行	一一五	一〇五
磐城銀行	五〇〇	四二〇
磐城銀行	三五〇	二八〇
田村實業	一一五	一一五
四倉銀行	一七五	一七五
農工銀行	二〇〇	二五〇
同 新	一五〇	一八五
百七銀行	五〇〇	五二五
同 新	一一五	一四五
七七銀行	一一五	九〇
東部電力	五〇〇	四八〇
同 新	二五〇	二二五
只見川電	一一五	七五
植田水電	一一五	一六五
二本松電	一一五	一四五
磐城製菓	二〇〇	一六〇
磐城製菓	一一五	一三五
植田物産	三〇〇	二六五
平製水	二五〇	一八〇
好間軌道	五〇〇	二五〇
入山新	三二五	一四〇
小田炭礦	二五〇	七〇
磐城炭礦	五〇〇	四一〇
同 新	二二五	一八〇
磐城セメン	五〇〇	六〇〇
同 新	三五〇	四〇〇
平運送	一一五	六五

平町田町 電話三三三番
丸登式株店
川添房二郎

懸賞

特に受賞者を 十名に増した

答案その氏名

有聲座の特志に基く「本紙
「輝く前途の説明の中で説
明者大森茂君が常磐毎日
新聞で申しました」
と云ふのが正解で懸賞者が
非常に多かつた為の特賞一
名普通賞五名の定めであつ
たのを特に増加し特賞五名
普通賞五名と爲し抽籤の結
果左の如く決定した因に當
選者に對しては今日中に賞
品引替證を送附する

(特賞)

- 田町 酒井ふく子
- 北町 一ノ瀬一男
- 仲町 横山久
- 六丁目 鈴木徳子
- 大江町 若松君江

(普通賞)

- 白銀町 高橋テル子
- 長橋町 小野正二
- 五丁目 高木律子
- 白銅町 加藤順一
- 田中町 小林房治

養鶏の奨励

組合を組織

石城郡農會野村技師は農商
家一般家庭に養鶏を奨励し
てゐるので平町農會は郡内
に率先して養鶏組合を組織
する計畫をたて、居る從來
養鶏事業は不利であるが如
く考へられたが種類の選び
様によつては有利な副業で
世界の産卵最高は三百十九
ヶであるが地方でも百五十
個から三百個近く産卵して

坑夫が騒ぐ

労銀不拂で

福島縣石城郡赤井村にある
大北炭礦にては財界不況の
ため目下百五十名の坑夫を
擁し辛ふじて經營して來た
が最近に至り三ヶ月分も勞
銀を支拂はず山形にある本
社に支拂ひ方を請求嘆願に
及んだが言を左右してなか
く解決つかず坑夫間に大
動搖を來し同盟罷業の状態
にあり平署で目下警戒中

珍妙な路線

縣廳で大笑ひ

縣土木課へ廿五日平町から
町内道路改修工事の延期方
を出願して來た、處が其路
線名に曰く「この線外五線」

とあつたのでそれを見た課
員連如何に平が花柳の發展
地だと云つても「この線」に
は恐れ入る何に起因せる線
名なるかを問ひ合せたがよ
からうと衆議一決技師連ま
でが大笑ひしてゐた

前科五犯の 土藏破りの兇賊

平署猪狩刑事捕はる

水戸署のお尋ね者

茨城縣那珂郡前渡村前科五
犯鈴木太郎(一)は水戸市
に於て散々窃盜を働きて去る
九日高飛びして平町に來り
白銀町旅館宮城館に投宿し
て逃亡後内郷村御代酒店の
土藏を破り衣類數十點外現
金四百圓を窃取し廿五日平
町を徘徊中平署猪狩刑事に
逮捕されたが同人は平町に
於ても數ヶ處を荒した形跡
があり水戸署からは寫真付
にて逮捕方依頼し來つてあ
つた者である

泥棒でしたか

女將驚く



家庭欄

兇賊鈴木太郎の投宿した
宮城館女將の談によると「
おひつ其他多くの種類はサ
ハラと云つて槍によく似た
樹で作りますが、このサハ
ラと云ふ樹は軟かくて加工
し易く、水に堪へる力が強
くて、木めが立派でありま
す。斯やうに色々の持長が
ありますけれども、特有の
強い匂ひがありまして、御
飯などが腐敗することが器
の新しい間は往々にあり
ますが、これをどりのぞく
には、使用しない先きに桶
の中へ湯を一パイ入れてそ

吉田夫人逝く

平町
新町尼子亭主人吉田直之助
氏夫人ヒデ子は病氣中の處
昨夜十二時逝去し明廿八日
午後二時出棺菩提院に於て
葬儀を執行すると

兎の耳

赤い汗を流す不
思議な患者 千葉醫
科大學附屬病院に
入院中の千葉縣山
武郡神崎(四)といふと
ても不思議な患者がある同
人は身長三尺五寸位で氣候
が暑くなると共に腹部から
盛んに赤い汗を出し醫員連

募集

文藝其他投稿
を募集します

平窪農事状況

石城
郡平窪村田植は本月十四日
より初め廿四日全部を終へ
た爲め果樹の手入(桃梨)其
他野菜の施肥等に從事し居
ると

観覽無料

館主爲
初老祝
甲陽獨特...現代喜劇
給料日の夜の出来事
月岡正美...高木新平
阪東妻三郎・泉春子主演
短か夜の戀
大阪毎日新聞...所載
谷幹一、荒木忍、一色勝代主演
現代情話春 怨全四巻
原(散りにし後)

心中宵待草

お里清三郎
月形童之助 美浪光
泉春子 嵐冠三郎
哀話
御座物として金十銭申受ます
本興行の純益金を
平劇高等女學校
日光遭難生徒へ
見舞金として贈呈す
二十七日より 東亞直營
日曜ヒル有ます
平劇場 電五

氷水屋の噂

早くも むし暑さに

今年もすでに夏至を過ぎ今
後數日を出でずして常夏月
の異名さいある七月に入る
のだから暑くなるのは四季
の運行上まさに當然のこと
ではあるが未だ雨氣を含ん
だ重くらしい昨日けふの空
合ひの蒸し暑さはすでに海
戀の感さへさへさへるばか
りである、一昨二十五日の
最高氣温 はまさに
八十四度(農試石城分場觀
測)と註せられ手まはしの
よい氷水屋では氷削る涼し
い音に早くも初夏の氣分を

検鏡を行ふ

前年の患家に 傳染病の豫防

石城郡内大正十二年(十
三年分其筋調査未了)の腸
チブス患者は合計二百六十

平窪賣上高

石城
郡平窪村に於ては本年度の
春蠶掃立枚數約七百枚
にして蠶量一貫目程なるが
今日に至り收購殆んど賣却
済となり其の賣却高約三萬
四千圓に達したと

平町人事

- ▲出生
△長橋町三八 大谷末藏氏長女ミネ
△大工町一九 吉田充彌氏長女孝子
- ▲婚姻
△田町三六 藥師宇佐美友二郎氏
(三〇) 双葉郡富岡町 佐藤スミ
(二二) 新海縣相川町 大字新五郎三七 鐵
工業加藤伊之吉(二六) 銀治町一
一酒井竹子(一九)
- ▲死亡
△鐵田町五二 佐藤米子(七四)
△新町四三 吉田ヒサ(五三)